

<p><b>目標</b></p> <p>地域の特性を尊重した、きめ細かな行政サービスを行うとともに、地域を基盤にしたまちづくりを進めます。</p>		<p><b>施策の方向</b></p> <p>1 地域を基盤にした区政の推進</p> <p>( 1 ) 地域からの計画づくり</p> <p>( 2 ) 地域における機能とサービスの充</p>
---	--	---

各施策の基本計画（平成10～19年度）の目標達成状況

( 1 ) 地域からの計画づくり（地域ぐるみの防災体制づくりの再掲）

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
避難所情報ボランティアの育成（人）	（平成10年度） 12人	（平成19年度） 110人	（平成19年度） + 56人	平成17年度末に 防災サポーターと を統合 しました。
防災アドバイザーの育成（人）	（平成10年度） 21人	（平成19年度） 40人		

指標名の定義：登録ボランティア数 防災サポーターの目標値は60人であり、平成19年度末に56人の登録です。

( 2 ) 地域における機能とサービスの充実（ともにつくる福祉の推進の再掲）

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
特別養護老人ホーム・老人保健施設の民間による整備床率（%）	（平成10年度） 79%	（平成19年度） 88%	（平成19年度） 100%	17年度から民間による運営に移行し目標値を上回りました。
地域見守り協力員事業対象者数（人）	（平成12年度） 493人	（平成19年度） 840人	561人	目標を67%達成しました。

指標名の定義： 整備床数 / 特別養護老人ホーム・老人保健施設  
地域見守り協力員事業対象者数

<p>これまでの主な取り組み</p>	<p>1 地域を基盤とした区政の推進</p> <p>区内10ヶ所の特別出張所単位で、地域特性を尊重し地域を基盤にしたまちづくりを推進するため、平成15年度に地域で抱える課題や区からの提案などを解決する場として「課題別地域会議」が設置されました。この会議体の設置により、行政だけがまちづくりを担うのではなく、地域住民が主体的にボランティアやNPOなどとの役割分担と協力により、地域課題等を解決していくという区民によるまちづくりの新しい取り組みが始まりました。そしてこのような取り組みを経て17年度には、区民の区政参画と地域課題解決の場として「地区協議会」が設立され、区は、地域自治の充実とよりよい地域社会を築いていくために対等な立場で協力し合うパートナーと位置づけ、運営を積極的に支援してきました。各地区協議会では、当該地区のまちづくり方針が話し合われ、区に対してまちづくり方針意見書が提出され、その内容は区の基本構想や総合計画に反映されました。また、19年度には、区のまちづくり活動支援補助金を活用し、33事業について地域課題が検討され、まちづくり活動が推進されました。</p> <p>また、20年度からの基本構想の見直し及び新たな基本計画の策定を目指し、17年度から区民、地域団体、NPO等との協働による計画づくりを進めてきました。区民会議による提言及びそれを尊重した基本構想審議会の答申を踏まえ素案を作成し、地域説明会やパブリックコメント、議会の議決を経て、19年12月に基本構想及び総合計画（基本計画と都市マスタープランを一体化した計画）を策定しました。</p>
--------------------	--

<p>評価</p>	<p>1 地域を基盤にした区政の推進</p> <p>区は、地域課題解決の場として設立した地区協議会に対して、対等な立場で協力するパートナーとしてその運営について積極的に支援してきました。その結果、19年度には延571回もの会議が開催され、課題解決に向けた取り組みが行われたことは、区民の自主的・主体的なまちづくりが推進されたとして評価します。</p> <p>区民との協働による基本構想・基本計画づくりに向けて、初期の段階から376名もの区民参画を得た区民会議による計画づくりを進めたことにより、区民と行政が将来のまちづくりの方向性を共有するという大きな効果をもたらしたと評価します。</p> <p>この項は、新宿区総合計画の「 - 2 コミュニティの活性化と地域自治を推進するまち」に引き継いで取り組んでいきます。</p>
-----------	---

施策の方向の目標達成状況

(1) 地域からの計画づくり(地域ぐるみの防災体制づくりの再掲) (158ページ)

指標名	定義	目標水準				
地域の防災体制の確保	防災ボランティアの育成(60人登録)避難所の震災対策(23校耐震補強工事) 避難所運営管理協議会の開催(45協議会)	(平成19年度に) (定義欄) の水準達成				
救援・救護体制の整備	災害対策用各種水利の確保及び充実(小型防火貯水槽229基) 避難所機能の充実(災害用トイレ50箇所)	(平成19年度に) (定義欄) の水準達成				
災害活動体制の整備	地域防災無線の整備(186台)	(平成19年度に) (定義欄) の水準達成				
施策の達成状況						
	単 位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
施策成果指標	目標値1	件	(45)(60)(3)	(45)(60)(23)	(45)(60)(23)	<地域の防災体制の確保> 左:避難所運営管理協議会の開催協議会数 中:防災サポーターの登録者数 右:小中学校・幼稚園・児童館耐震補強工事の件数
	実績1	件	(19)(58)(3)	(26)(56)(17)	(35)(56)(23)	
	目標達成率1 = /	%	-	-	-	
	目標値2	件	(228)(50)	(229)(50)	(229)(50)	<救援・救護体制の整備> 左:小型防火貯水槽の件数 右:災害用トイレの設置件数
	実績2	件	(228)(22)	(229)(39)	(218)(41)	
	目標達成率2 = /	%	-	-	-	
	目標値3	人			186.00	<災害活動体制の整備> 地域防災無線の台数
	実績3	人			186.00	
	目標達成率3 = /	%			100.00	

(2) 地域における機能とサービスの充実(ともにつくる福祉の推進の再掲) (126ページ)

指標名	定義	目標水準				
障害者施設、グループホームの区内設置数	心身障害者グループホーム6か所 心身障害者入所施設2箇所の設置又は設置準備	(平成20年度に) (8か所) の水準達成				
知的障害者・障害児ショートステイの開始	新宿生活実習所多目的ルームを活用した知的障害者・障害児ショートステイ 一日3人	(平成17年度に) (100%) の水準達成				
地域見守り対象者数	地域見守り協力員が訪問する、地域見守り対象者の数	(平成19年度に) (530人) の水準達成				
施策の達成状況						
	単 位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
施策成果指標	目標値1	か所	8.00	8.00	8.00	「地域見守り対象者数」については、第四次実施計画策定時に目標値を530人に修正しました。
	実績1	か所	5.00	5.00	5.00	
	目標達成率1 = /	%	62.50	62.50	62.50	
	目標値2	人	3.00	3.00	3.00	
	実績2	人	3.00	3.00	3.00	
	目標達成率2 = /	%	100.00	100.00	100.00	
	目標値3	人	530.00	530.00	530.00	
	実績3	人	491.00	484.00	561.00	
	目標達成率3 = /	%	92.64	91.32	105.85	